



## 過去最多！6組のカップルが誕生 潮騒をBGMに恋の花咲かせる



官民でつくる婚活支援組織「阿南 de 愛隊」による恋活パーティー「恋活 in 北の脇」が8月25日、北の脇海岸で開催され、20歳代の独身男女23人が参加しました。潮騒をBGMにバーベキューやキャンプファイアを楽しんだ後、海の家に移動してすいか割りなどで交流を深めました。開放感たっぷりの雰囲気に参加者の会話も弾み、過去最多の6組のカップルが誕生しました。北の脇海水浴場組合長の玉井 操さんは、「いい思い出になったのでは。これからもたくさんカップルが誕生して、『海の家』が“恋人の聖地”と呼ばれるようになってほしいです。」と、目を細めていました。

イベントには、市内のアマチュアバンドの皆さんも駆けつけ、大いに盛り上げていただきました。

## 徳島駐屯地で「那賀川夏まつり」を開催



30回の節目を迎えた「那賀川夏まつり」が、8月25日、陸上自衛隊徳島駐屯地で開催されました。

会場には、特設プールや模擬店が設置されたほか、自衛隊の装備品展示なども行われ、訪れた親子連れは水遊びをしたり写真を撮ったりしていました。また、芝生広場では水鉄砲大会が行われ、10チームが参加して行われた小学生の部では千代チーム（小松島市）が優勝。中学生チームと自衛隊員との対戦も行われました。

主催した那賀川町商工会青年部長の瀧口 誠さん（34歳）は、「自衛隊施設を使わせてもらうことで芝生の上で遊べるようになり、企画もしやすくなりました。子どもたちが喜んでいる姿をみると本当にうれしいです。」と話していました。

## 震災体験を生で聞く 児童・生徒も参加して防災教育研修



8月28日、阿南市立幼稚園、小・中学校による合同防災教育夏季研修会が行われ、中学生20人を含む56人が神戸市の「人と防災未来センター」を訪れました。参加者は、語り部ボランティアの東田せつ子さんから阪神・淡路大震災の被災体験を直接聞いたり、音と映像による地震の疑似体験や防災・減災の展示コーナーなどを見学したりして、震災に対する理解を深めました。

受講した松江春奈さん（那賀川中3年）は、「自分たちも何かの役に立てるように努力したいです。」と、防災・減災への思いを高めていました。

同研修会は東日本大震災を機に取り組んでいます。生徒が参加して行われたのは今回が初めてです。

## 加茂谷中学生が被災地の今を伝える



8月22日から4日間、東日本大震災で津波被害を受けた宮城県を訪れた加茂谷中学校の生徒4人が、被災地の現状を伝えようと、同校の文化祭で報告を行いました。加茂谷鯉祭り実行委員会の呼びかけに参加した3年生の谷 悠さん、近藤千晶さん、佐竹慶祐さん、山本祐美加さんと、パソコン編集を手伝った日下 泉さんが登壇し、『まげねっちゃん』の心に学んだことと題して、石巻市、女川町、南三陸町の今を伝えました。近藤さんは、女川中学校で復興への願いを込めた俳句づくりに取り組んでいることや、地震発生時に校内放送が使えない体験から、抜き打ちで避難訓練を行っていることなどを紹介し、「私たちも見習うことが多い」と訴えました。報告会には生徒や保護者など約100人が詰めかけ、熱心に耳を傾けていました。

## 災害時にはケーブルテレビで 市の緊急情報が得られるように



本市は、株式会社ケーブルテレビあなん、徳島県南メディアネットワーク株式会社の地元ケーブルテレビ2社と、「緊急放送に関する協定」を締結しました。

これにより市のデジタル防災行政無線システムとケーブルテレビシステムとを連動し、災害が発生または発生する恐れのある場合、音声および文字で緊急放送ができるようになりました。緊急放送は「国民保護関係情報（弾道ミサイル攻撃等）の発表」、「緊急地震速報の発表」、「大津波警報、津波警報、津波注意報の発表」、「震度4以上の地震の発生」、「避難勧告、避難指示の発表」の場合などに放送されます。災害発生などの緊急時に、防災行政無線の放送と同様の内容が画面上でも確認できますのでぜひご活用ください。

## 徳島阿南シティホープ主将 柏原龍真さん 野球の世界大会でチームの勝利に貢献



8月17日～19日に岡山県倉敷市で開催された中学生硬式野球の世界大会である「第6回倉敷国際少年野球大会」に、阿南市から柏原龍真さん（那賀川中3年・徳島阿南シティホープ所属）が、四国・九州・沖縄選抜として出場しました。同大会には国内外から合わせて17チームが参加。柏原さんは予選リーグで岡山選抜（2チーム）や韓国と対戦し、結果は1勝2敗。投手、外野手としてチームの勝利に貢献しました。

「出場が決まったときはうれしかった。」と大会を振り返る柏原さんは、「今回の選抜選出は世界のレベルの高さを実感するいい経験になりました。これからさらに努力を重ね、高校での甲子園優勝という夢に向かって頑張りたい。」と意気込んでいました。

## 不思議がいっぱい！夢いっぱい！ 宇宙の日記念講演会



9月12日は宇宙の日。それにちなみ、科学センターでは9月14日、宇宙航空研究開発機構（JAXA）から講師として舟木政信さんを迎えて「宇宙の日特別講演会」を開催し、約50人が参加しました。演題は「宇宙への旅～地球を飛び出そう～」。舟木さんは太陽系の惑星や宇宙人の存在の有無、また宇宙飛行士の宇宙での生活などについて説明しました。最後には宇宙クイズが行われ、参加者たちは難問の数々に頭をひねっていました。また、「宇宙は何年前に出来たのか」「宇宙飛行士になるために必要なもの」などたくさんの質問が出されました。参加した尾川大樹さん（横見小4年）は「前より宇宙のことがわかった気がします。ほかの星にも生物がいたらいいな。」と夢を膨らませていました。

## 阿南市で初めての登録 太龍寺本堂などが国の有形文化財に



6月21日に四国霊場第21番札所・太龍寺の本堂を含む9つの建築物等が、国の有形文化財に登録されたことを受け、9月12日、太龍寺で登録プレートの伝達式が行われました。

今回登録されたのは、本堂、大師堂、御影堂、護摩堂、多宝塔、六角経蔵、本坊の7棟の建築物と、仁王門、鐘楼門で、「国土の歴史的景観に寄与している」と評価されました。伝達式で、県の職員から真ちゅう製のプレートを受け取った太龍寺住職の島村泰人さんは、「立派なものをいただきました。寺を訪れるたくさんのお遍路さんに見てもらえる場所に飾りたいです。」と話していました。

建築物等が国の有形文化財に登録されるのは、徳島県内では101～109例目で、阿南市では初めてです。